



表紙, 大阪府立大学看護学部紀要投稿要領, 目次,
奥付, 裏表紙

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/12824

大阪府立大学看護学部紀要

第19巻 第1号

2013年

研究報告

- 乳がん検診・自己触診法の意識を高める啓発活動 1
 一年齢差に着目して—
 大川聡子・根来佐由美・和泉京子・上野昌江・長塚真理・寺田美貴・小笠原未来
 新生児集中治療室に子どもが入院した体験をもつ母親の育児に対する思い 11
 —NICU入院から退院後1か月まで—
 藤野百合・中山美由紀
- 精神科新卒看護師が体験するジレンマとそれへの対処 21
 日下部祥子・桑名行雄
- 特別養護老人ホーム看護職を対象とした
 看取りケア教育プログラムにより見出された課題と取り組み 31
 江口恭子・長畑多代・松田千登勢・山内加絵・山地佳代
- がん看護専門看護師が実践を行う際に必要な能力 41
 —がん看護専門看護師教育課程担当教員とがん看護専門看護師の立場から—
 林田裕美・田中京子・吉田智美・山口亜希子
- サロン参加者の健康状態からみた大学と地域住民の協働による健康支援活動課題の検討 53
 根来佐由美・大川聡子・和泉京子・上野昌江
- パーキンソン病者における病いについての他者への「言いづらさ」 63
 中岡亜希子・黒江ゆり子・田中結華

資料

- 冠状動脈バイパス術後患者が必要と考える情報と情報獲得に関わる看護援助 73
 石田宜子・稲垣美紀・高見沢恵美子・正井崇史・古谷緑・松本智晴・井上奈々・石澤美保子
- 欧米の医療分野における乳幼児用チャイルドシート着用教育とその効果に関する文献検討 81
 椿知恵・中嶋有加里・山田加奈子・町浦美智子
- 妊婦のシートベルト着用に関する文献検討（2006年～2011年） 87
 山田加奈子・中嶋有加里・椿知恵・小山恵実・町浦美智子
- 妊婦の全席シートベルト着用の意識づけを目指したWeb動画教材に対する妊婦による評価 93
 中嶋有加里・山田加奈子・椿知恵・町浦美智子
- オランダにおける助産師活動の視察報告 103
 山田加奈子・町浦美智子・中嶋有加里・椿知恵
- 米国における看護学教育のインストラクショナルデザインに関するフィールドスタディ 111
 細田泰子

大阪府立大学看護学部紀要投稿要領

1. 紀要について

- 1) 本学部の紀要の名称を「大阪府立大学看護学類紀要」(Journal of School of Nursing Osaka Prefecture University) とする。
- 2) 紀要は年1回発行する。
- 3) 紀要は学内に配するのみならず、他大学・研究機関等に寄贈する。
- 4) 紀要の編集は、紀要委員会が行う。

2. 投稿資格

原稿の第一著者は本学部の教員・非常勤講師、大学院生および大学院修了者(看護学研究科)で紀要委員会が認めたものとする。

3. 原稿の種類

- 1) 原稿の種類は、論壇、総説、原著、研究報告、その他である。それぞれの内容は下記のとおりである。

【論壇】看護学に関連する問題や話題について、今後の方向性を指し示すような論述や提言

【総説】看護学に関連する特定のテーマについて、多面的に知見ならびに文献を検討し、総合的に概説したもの

【原著】看護学に関連した研究論文のうち、独創的で、新たな知見が論理的に示されているもの

【研究報告】看護学に関連した研究論文のうち、内容において原著論文に及ばないが、研究の意義があるもの

【その他】看護学に関連した資料、解説、実践記録、研究ノート等で、紀要委員会が適切と認めたもの

- 2) 投稿論文の内容は、他の出版物に掲載あるいは投稿されていないものに限る。
- 3) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて以下の制限内にとどめることを原則とする。

論壇	4,000字以内
総説	12,000字以内
原著	16,000字以内
研究報告	16,000字以内
その他	12,000字以内

4. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されなくてはならない。原則として倫理委員会の審査を受けること。

5. 投稿手続き

- 1) 印字した原稿3部(うち2部は査読のため名前・所属・謝辞を削除する)を紀要委員会に提出する。採用決定後の最終原稿には電子記録媒体をあわせて提出する。
- 2) 原稿等を提出する際には封筒に入れ、表に原稿表紙の複写を添付する。
- 3) 原稿執筆の要領は、別に定める。

6. 原稿の受付および採否

- 1) 原稿の受付日は、5.の投稿手続きを経た原稿が紀要委員会に提出された日とする。
- 2) 査読者(原則として2名以上)の意見をもとに、修正を求められた原稿の著者は、内容を修正の上で、紀要委員会によって定められた期日までに再投稿する。
- 3) 原稿の種類および掲載の可否についての決定は紀要委員会において行う。
- 4) 著者校正は2回行う。校正時の加筆は原則として認めない。

7. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は原則としてワープロソフトで作成し、A4判用紙1枚あたり、35文字×28行の横書きとする。
- 2) 原稿には表紙を付し、表題、著者名、所属先、図表の数、希望する原稿の種類を記載する。表題、著者名は英文も併記する。著者名の右肩に1)、2)と番号を付け、所属先を記載する。
- 3) 原稿の2枚目に抄録とキーワードを記載する。原著・研究報告の抄録は、和文は400字、英文は300語以内で本文の論旨がわかるよう記述する。抄録に続いて、論文の内容を的確に表現しうるキーワード(単語または語句)を日本語と英語で3~6個記載する。
- 4) 英文の表題および抄録はネイティブのチェックを受ける。

5) 図, 表などは, 1つずつA4用紙に配置し, 図1, 表1 (英文の場合は, Table 1, Figure 1) などの通し番号をつけ, 本文とは別に巻末に一括する。また, 原稿右欄外にそれぞれ挿入希望位置を朱書きで指定する。

6) 文献の記載方法は下記に従う

①本文中の文献表示方法

引用文献は, 引用箇所 to 著者名と発行年次 (西暦) を括弧表示する。

著者が複数の場合は, 著者名は1名のみとし, 「ら」または「他」をつけて略する。同一著者に同一発行年次の文献が複数ある場合は, 発行年次の後に小文字のアルファベット a, b, c... を付して区別する。

例: (小川ら, 2005), (Ogawa M, et al., 2004), (鈴木, 2003a), (鈴木, 2003b)

②文献欄の記載方法

文献欄は, 筆頭著者の姓のアルファベット順に記載する。共著者は3名まで記載し, それ以上の場合には「ら」または「他」をつけて省略する。

同一著者の文献が複数ある場合には, 発行年次の早い順に記載する。

同一年次に同一著者による文献が複数ある場合には, 本文中の表示に添付した小文字のアルファベット順に並べる。

文献の記載方法

[雑誌の場合]

著書名 (発行年次): 表題名, 掲載雑誌名 (List of journals indexed medicus, 医学中央雑誌・収録雑誌略名表に準拠した略名も可), 号もしくは巻 (号), 頁-頁。

[単行書の場合]

①著者名 (発行年次): 書名 (版数 初版は省略可), 出版社名, 発行地。

②著者名 (発行年次): 論文の表題, 編者名, 書名 (版数 初版は省略可), 頁-頁, 出版社名, 発行地。 (欧文は編集者や監修者名の前にIn, 後に (Ed) または (Eds) を記載)

[翻訳書の場合]

原著者名 (原著の発行年次): 原著名, 出版社, 発行地。 / 訳者名 (翻訳書の発行年次): 翻訳書名 (版数), 出版社名, 発行地。

8. 著作権

原稿内容についての第一儀的な責任と権利は執筆者に帰属するが, 原稿の編集, 出版および電子情報化など二次的使用に関する権利は紀要委員会が執筆者から委託されたものとする。

9. 著者負担

論文の別刷りは, 1論文あたり30部までは無料とし, それ以上の希望については著者負担とする。

(附則)

この投稿要領は, 平成23年4月26日から施行する。

看護学部紀要委員会

委員長 堀井 理司

副委員長 田嶋 長子

委員 高橋 清子 林田 裕美 隅田 千絵

大阪府立大学看護学部紀要

第19巻 第1号

2013年3月15日 発行

編集 看護学部紀要委員会

発行 大阪府立大学看護学部

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号

TEL (072) 950-2111 (代)

FAX (072) 950-2131

印刷 株式会社 春日

〒542-0064 大阪市中央区上汐2-2-22

TEL (06) 6767-0899

JOURNAL OF SCHOOL OF NURSING OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

Vol. 19, No.1

2013

Reports

- Effective awareness raising activity for medical checkups and self-checks for breast cancer;
an age specific approach 1
S. OKAWA, S. NEGORO, K. IZUMI, M. UENO, M. NAGATSUKA, M. TERADA, M. OGASAWARA
- Perception about the parenting of mothers having preterm infants admitted to NICU;
from hospitalization to one month after discharge 11
Y. FUJINO, M. NAKAYAMA
- Dilemma to be gone through by psychiatric new graduate nurses and coping with them 21
S. KUSAKABE, Y. KUWANA
- Issues and management efforts found by educational programs for the nursing staff to
support end-of-life care in nursing homes 31
K. EGUCHI, T. NAGAHATA, C. MATSUDA, K. YAMAUCHI, K. YAMAJI
- Abilities necessary for practicing certified nurse specialist (CNS) in cancer nursing;
view of training course teachers and CNS in cancer nursing 41
Y. HAYASHIDA, K. TANAKA, S. YOSHIDA, A. YAMAGUCHI
- The examination of the tasks for health support service by the cooperation of the university
and local residents judging from a salon participant's health condition 53
S. NEGORO, S. OKAWA, K. IZUMI, M. UENO
- Difficulties in telling others about chronic illness in Parkinson's disease 63
A. NAKAOKA, Y. KUROE, Y. TANAKA

Materials

- Needs for information and requests for informational nursing interventions of postoperative
patients with coronary artery bypass grafting 73
Y. ISHIDA, M. INAGAKI, E. TAKAMIZAWA, T. MASAI, M. FURUGAI, C. MATSUMOTO,
N. INOUE, M. ISHIZAWA
- Literature review on education about child restraint systems for infants in medical field 81
C. TSUBAKI, Y. NAKAJIMA, K. YAMADA, M. MACHIURA
- Literature review on seatbelt use of pregnant women (2006~2011) 87
K. YAMADA, Y. NAKAJIMA, C. TSUBAKI, E. KOYAMA, M. MACHIURA
- Pregnant women's evaluation of the web audiovisual material to improve the awareness
about wearing seatbelts in car seats during pregnancy 93
Y. NAKAJIMA, K. YAMADA, C. TSUBAKI, M. MACHIURA
- The report of midwifery practice in the Netherlands 103
K. YAMADA, M. MACHIURA, Y. NAKAJIMA, C. TSUBAKI
- A field study on the instructional design of nursing education in the United States of America 111
Y. HOSODA

Published by

SCHOOL OF NURSING, OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY
3-7-30 HABIKINO
HABIKINOSHI, OSAKA, JAPAN